

パスター大倉の牧師室から

『信者たちはみな一緒にいて…、日々こころを一つにして絶えず官もうでをなし…』使徒行伝 2:44, 46

教会だけがこの世界に提供できるものは何でしょうか。荘厳な礼拝堂でしょうか。次から次へと企画されるイベントでしょうか。地球の裏側にいる人達へのチャリティーでしょうか。言うまでもなく、これらは教会のミニストリーのために大切なことです。

しかし、たとえこれらのものがなくとも、私達は「あるもの」が教会にあるかぎり、その場所を「教会」と呼びます。それでは教会を教会たらしめているものは何なのでしょう。それは「礼拝」です。クリスチャン作家のフィリップ・ヤンシーは書いています。「教会は他のあらゆる活動が盛んでも、礼拝において失敗するなら、その教会は失敗である」

私は皆さんと同じように、これまで色々な人に出会ってきましたし、今もそんな出会いを続けています。そして、その方達は当然、各々、違う人生を歩んでいます。そんな出会いの中でふと思うことがあります。それはなぜ、私達の人生にはこんなにも違いがあるのだろうかということです。きっとその理由は何百もあるのだと思います。しかし、その中の一つに、その人が「なすべきことを続けてきたか」、それとも「なすべきことを途中でやめてしまったか」ということがあるのではないかと思います。

たくさんの方を並行して継続する必要はないと思いますし、それは実際にとっても難しいことです。しかし「これだけは！」と思われることをし続けること、これが結果としては私達の人生に大きな違いをもたらすのではないかと思います。そして、信仰者である私達にとりまして私達が「これだけは！」と続けるべきものの筆頭に置くものが「礼拝」なのではないかと思うのです。

続けることはとてもシンプルです。しかし、これほど難しいことはありません。なぜなら礼拝に関していえば「なんで皆が眠っている日曜の朝に俺は教会に来ているんだ」とか「この時間にあれもできる、これもできる」というような思いがわいてくるからです。長い信仰生活の中では「礼拝に来ている意味が分からない」というような思いを持つこともあるでしょう。しかし、時にこのような思いが心にあっても、それでも続けることが大切なのではないかと思うのです。

波乱万丈の人生を歩みながらも長い年月、礼拝に来続けて来られた方達の姿を教会で見させていただけることは私にとって大きな喜びです。確かにその肉体は齢と共に弱り、生活環境も変わりましたが、彼らには変わることはないものを今日まで仰ぎ拝してきて、これこそが最善な生き方だったのだという確信が見受けられます。そんな方達の人生を傍から見ていて思うのです。私もこの道を歩んで行けばいいのだと。

『小事に忠実な人は大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である』 ルカ16:10

人生とは結局のところ、この辺りのことが積み重なり、泣いても笑っても、私達の集大成となっていくのではないかと思います。皆さんはどう思われますか？

お知らせ

■12月30日には一年最後の礼拝を捧げ、うどんとそばを楽しみました。前日、そして当日もこのためにご奉仕して下さった皆さん、ありがとうございました！一同、身も心も満たされ、主と共に2018年を締めくくることができました。

■1月12日に南加新年聖会がバンクーバー日系人福音教会の福迫徹也牧師をお招きしてオレンジ郡教会でもたれ、私達の教会からは28名の方達が参加することができ、一同、御言葉と共に新年を歩みだすことが出来ました。

■1月18日(金)から21日(月)までウィンタービジョンがもたれ教会の四名のユースが参加します。ドライブをする山口師の運転が守られ、一同が神様の恵みを受けることができますようにお祈りください。

■1月19日(土)午後一時より当教会にて町田兄妹の長男である良太兄のメモリアルサービスがもたれます。町田ファミリーと列席者の上に天来の平安とお慰めがありますように。

■大倉牧師は家族を訪問すべく、1月21日(月)-26日(土)まで訪日します。この間の水曜集会、木曜集会はおやすみとなります。

■2月4日から6日までロサンゼルスで日語牧師夫人リトリートがもたれます。また2月11日から14日までマウントハーモンで牧師リトリートがもたれます。牧師夫妻がしっかり充電して、それをまた教会のミニストリーに還元できるような時となるようにお祈りください。

■今年の夏期修養会は7月2日(火)-5日(金)サンタバーバラ・ウエストモント大学で「こおんな旅がしたい！」(イザヤ43章19節)をテーマにもたれます。講師はニューホープチャペル(滋賀県彦根市)の牧師である豊田信行師です。来年は80周年という記念すべき年であり、皆で「ハレルヤ・コーラス」を合唱する予定です。

■教会のライブ礼拝映像の画質、音声がとてもよくなりました。旅行や健康上の理由で礼拝に来れない場合世界中どこからでも見る事ができますのでお用いください(録画されますので後で見られることもできます)。礼拝プログラムや教会のニュースを確認したり、その週の「一日一生」や「おもちかえり」を用いて、一人、静まることもできます。教会ウェブサイトの日本語ページをごらんください。

<https://www.sdjcc.net/>

■日曜の礼拝メッセージはポッドキャストでスマートフォンにダウンロードしていつでも、どこでも聞くことが出来ます。このミニストリーを始めて一年となりますが、その間に5150回のダウンロードが世界各地でなされました(平均、一月430回、一日14回)。このようなかたちで主の御言葉が世界に広げられていることを思い、主の御名を崇めます。よかったらご家族、ご友人にお勧めください。

■今年のイースター(4月21日)に向けて、洗礼、入会を希望する方、これらのことで質問のある方は執事、牧師までお気軽にお声をおかけください。喜んでお手伝いをさせていただきます。

■教会では愛するご家族を記念して礼拝のために活かされる献花を随時、受けつけています。希望なさる方はお声をおかけください。

■いよいよフルーが流行するシーズンです。体調が思わしくない時はご無理なさいませぬように。特にご高齢の方達は肺炎を併発したり、大事にいたることがあります。皆さんが守られますようにお祈りします。